

4. 実証研究の具体的な実施内容及び実施方法等

実施内容

平成 30 年度は連携コーディネーター（加配教員）を活用し、NPO 法人化した地域学校協働本部との連携により、25 の企業や大学・行政機関等とのマッチングを図ることができた。本年度は 6 年間の教育プログラムに広域外部サポーターとの協働による具体的な教育実践を組み込み、コミュニティ・スクールのしくみを活かした教育活動の実際について大きく以下の 2 点について実証研究を進めた。

- 1 「富校版 広域外部サポーターとの協働型コミュニティ・スクールプラン」の作成
- 2 活動の成果を全国・大阪府に発信する機会として「とんこう地域フォーラム」を開催

実施方法

- 1 「富校版 広域外部サポーターとの協働型コミュニティ・スクールプラン」について
 - ① CS ネットワーク協議会、学校運営協議会の運営
 - ・ 学校運営協議会の主体的な運営が可能となるように、学校運営協議会長、校長、教頭、事務部長、連携コーディネーター等による企画委員会を開催した（年 3 回）。学校運営上の課題について学校運営協議会で協議し意見を出したり、CS ネットワーク協議会において、熟議を協議会委員自らが企画し、ファシリテーターを務めたりするなど、活動が活性化した。
 - ・ 連携コーディネーターは、生徒の学校運営への参画を推進するためのリーダーとして両協議会と生徒会等との連絡調整及び生徒が参画できる場の企画・運営を行った。
 - ・ 連携コーディネーターは、CS ネットワーク協議会における生徒も参画した「熟議」のファシリテートの中心を担うとともに、他の教職員等のスキルアップのための指導助言を行った。
 - ・ 両協議会の運営が持続可能となるように、連携コーディネーターが学校運営協議会に係る事務及び事業の校内における進捗管理を行うとともに、中高校内において、月に 1 回以上定期的に取組みの進捗状況を報告し（職員会議等）、校内教職員の理解啓発を促した。
 - ・ 両協議会委員、教職員の意識の高揚を図るため、先進的な取組みをされている竹原和泉氏（文部科学省 CS マイスター）を学校運営協議会委員・教職員合同研修会に講師として招聘した（8/23 実施、テーマ「未来に挑戦する持続可能なコミュニティ・スクールの実現に向けて」）。
 - ・ 先進地域の視察等を実施した。（「まちと学校のみらいフォーラム 2019」10/26、東山田中学校学校運営協議会 10/27 など）
 - ② 広域外部サポーターとの協働による教育活動の実施
 - ・ コミュニティ・スクールとしての取組みを教育活動の中に位置づけ、広域外部サポーターとの協働活動を進めた。平成 30 年度はネットワークの広がり意識した活動であったが、本年度はより深化をめざし、持続可能な取組みとなるよう進めた。（地域・学校連携会議の開催）
 - ・ 連携コーディネーターが中心となり、取組みに対する中高教職員の意思統一と意識高揚を図り、学校全体でカリキュラムを作成することにつなげるための研修を企画・運営した。（夏季教職員研修、夏季学校運営協議会研修、先進地域視察等）

《具体的な教育活動》

【トップランナー講演会】

本校の教育目標である社会貢献を様々な分野で実践している人材を招聘し（6/18 宮林孝仁氏（獣医師、テーマ「アメリカ獣医放線学会認定専門医への道」）、7/16 野村真作氏（世界銀行、テーマ「貧困のない世界をめざして～世界銀行の仕事～」）、9/17 蛭田勲氏（大学教授、テーマ「世界とつながる～Challenge for the future!～」）、9/24 阪本祥大氏（医師、テーマ「私の中学高校時代の進路選択と富中生へのメッセージ」）、12/10 竜野真維氏（医師、テーマ「フィールド医学」）、1/14 小川力也氏（学習塾長、テーマ「中学校の範囲を超えた理科と学びの特別講座」）、3/3 北村晏一氏（(株)EV ジャパン取締役最高顧問、テーマ「電動車両について～大切な事実の直視～」）、講演いただいた。生徒に対して将来の目標となるようなモデルを示し、生徒がめざす人間像や進路がよりリアルに感じられるような機会とした。

【探究活動】

中学では探究活動のベースとして学校の所在地である大阪南部地域を中心とした探究を実施し、高校での世界規模・今日的な課題をテーマにした探究につなげている。

協働の実際としては研修、視察及び取材、実践交流、SSH のメリットを生かした連携型カリキュラムの開発、プログラムの協同開発を通じた企業・大学・自治体との連携に取り組んだ。

(中学)

- ・ 南河内エリアを起点とした探究学習「南河内探究」：南河内の魅力を発信しよう！
- ・ 大阪エリアを起点とした探究学習「社会探究」：企業の取組みを探究しよう！
- ・ 探究学習の成果を社会に提案する「提案型探究」：自分たちのアイデアを社会に提案しよう！
- ・ 科学への興味関心を引き出す専門家による講義（富中サイエンス）等

(高校)

- ・ 「環境」をテーマに持続可能な社会づくり（SDGs）を実現するプログラムの開発をめざした世界規模の「課題探究学習」：社会の課題を解決し、社会貢献につなげよう！

【グローバル教育】

プログラムの協同開発、研修を通じた企業・大学・自治体等との連携

(アントレプレナーシップ)

- ・ グローバルリーダー育成海外研修（訪問先：マレーシア、アメリカ）
- ・ 教材協同開発等

(国際交流)

- ・ 海外大学進学・留学セミナー、交流支援等

【学習支援・部活動支援】

外部人材により活動をサポート

- ・ 放課後の学習支援（富中未来塾）、部活動支援等

グローバルリーダーと一緒に育てませんか？

ユネスコスクール



多様性理解

- ◇グローバルリーダー育成海外研修（マレーシア等）

アントレプレナーシップ

- ◇グローバルリーダー育成海外研修（オーストラリア等）
- ◇教材協同開発、研修等



トップランナー講演会

- ◇ロールモデルによる講演等



国際交流

- ◇国際交流支援
- ◇海外大学進学・留学セミナー等



世界規模の課題探究学習

- ◇協同研究・実践交流
- ◇研修・訪問(大学・企業等)
- ◇プログラムの協同開発

成果を社会にフィードバックします！

とんこう地域フォーラム

全国に協働活動の成果を発信します！



学習支援

- ◇外部人材(大学生、民間人等)によるサポート
(富中未来塾等)



部活動支援

- ◇外部人材(大学生、民間人等)によるサポート
(運動部・文化部)

スーパーサイエンス
ハイスクール

「環境」をテーマに
持続可能な社会づくり（SDGs）を！



南河内を起点とし大阪エリアを
フィールドとした探究学習

- ◇研修・訪問（視察、取材等）
- ◇地域への課題提案



富中サイエンス

- ◇科学の専門家による講義、
部活動サポート等

③ 地域学校協働本部・広域外部サポーターとの連携

- ・ 連携コーディネーターは、地域学校協働本部（NPO 法人「学びと育ち南河内ネットワーク」）の会議に出席し、連携の実際について広域外部サポーターと積極的に意見交流を行うとともに、教育活動等での協働について検証し、活動を推進した。
- ・ 連携コーディネーターは、さまざまな機会をとらえて、教育活動を支援していただける企業・大学・行政機関・民間団体等を新たに募り、広域外部サポーターの数を増やしネットワークの拡大につなげた。また、今年度までに構築した広域外部サポーターとの連携体制をより確実なものとなるよう広域外部サポーターとコンタクトを取り、各教育活動の担当者につないだ。
- ・ 地域学校協働本部には、探究活動でのフィールドワークにおける地域の産業・観光振興団体との協働や、企業コーディネーターが中心となり協力企業との連携を推進するなど、地域協働活動が持続可能となるよう協定を結ぶ等の支援をいただいた。
- ・ 行政との連携では、例えば、府公民戦略連携デスクでは本校の取組みを企業に説明し、企業を紹介していただいた。また府教育庁地域教育振興課では、コーディネーター研修を通じて社会貢献活動を実践している企業を紹介していただいたり、本校コミュニティ・スクールの取組みを府 HP で取り上げていただいたりした。

④ 情報収集・発信

- ・ 全国的な実践交流会、先進地域（学校を含む）視察等に研究指定校の学校運営協議会委員や教職員、広域外部サポーター等が参加し、情報収集するよう働きかけた。
- ・ 研究成果を「富校版 広域外部サポーターとの協働型コミュニティ・スクールプラン」としてまとめ、持続可能なものにしていく。また、HP にコミュニティ・スクールコーナーを作成し情報発信を行った。

2 まちと学校のみらいフォーラム（とんこう地域フォーラム）について

- ・ 全国・大阪府に研究成果を発信するための発表の場としてフォーラムを広域外部サポーターと協働で企画・運営。

《内容》

- ① 探究活動やグローバル教育等の具体的な活動の成果について、生徒によるポスターセッション等での発表。
- ② 本事業の研究内容に係る専門的な講師を招聘し基調講演。また、研究成果の報告とそれに対する指導講評。
- ③ 広域外部サポーターによる社会貢献等に係る取組みについてブース展示。